

# 泌尿器系と生殖器

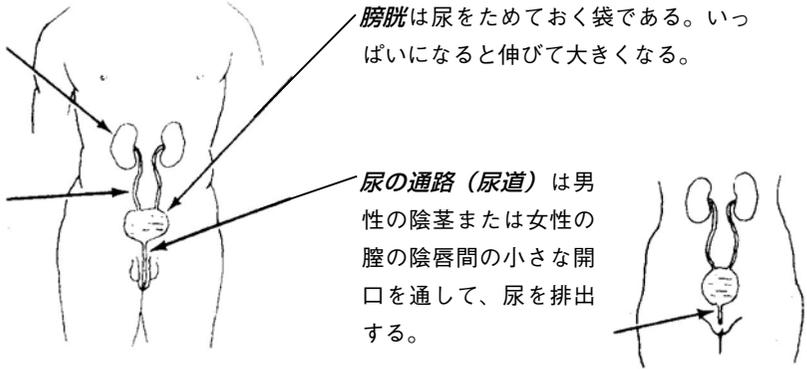
泌尿器系すなわち尿路は、からだにとって、血液から老廃物を取り除いて尿として排出する役割のあるものである。

腎臓は血液をろ過して尿をつくる。

膀胱は尿をためておく袋である。いっぱいになると伸びて大きくなる。

尿管は尿を膀胱に送る管である。

尿の通路(尿道)は男性の陰茎または女性の膣の陰唇間の小さな開口を通して、尿を排出する。



生殖器は男女の別のある器官である。

### 男性：

膀胱。

輸精管。

尿道。

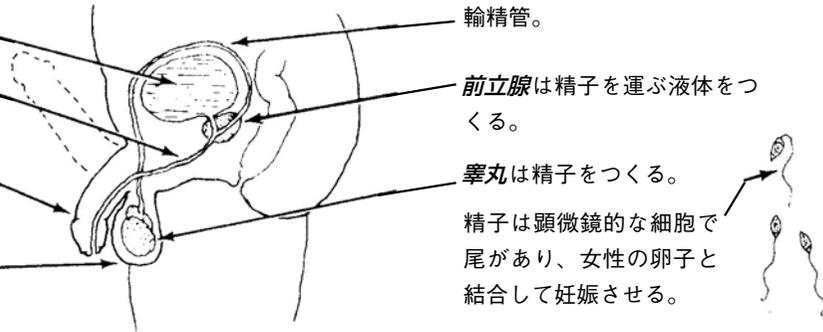
前立腺は精子を運ぶ液体をつくる。

陰茎すなわち男性生殖器。

睾丸は精子をつくる。

陰嚢は睾丸をおさめる袋である。

精子は顕微鏡的な細胞で尾があり、女性の卵子と結合して妊娠させる。



### 女性：

膣の外陰唇。

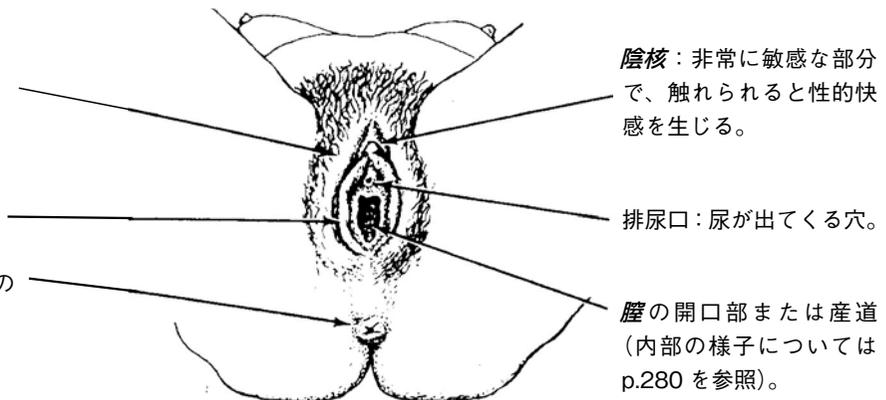
陰核：非常に敏感な部分で、触れられると性的快感を生じる。

内陰唇。

排尿口：尿が出てくる穴。

肛門：腸管の末端。

膣の開口部または産道(内部の様子についてはp.280を参照)。



## ■尿路の病気

尿路には多くの種類の病気がある。区別するのはなかなか容易ではない。また、同じ病気が、男性と女性とで、違った現れ方をする可能性がある。これらの病気にはたいした問題ではないものもあるが、非常に危険である可能性のあるものもある。危険な病気でも、はじめは軽い症状かもしれない。本書のような書物を参照するだけでは、これらの病気を正しく見極めるのは困難なことが多い。専門的な知識と検査が必要だろう。可能な場合は、保健ワーカーの助言を求める。

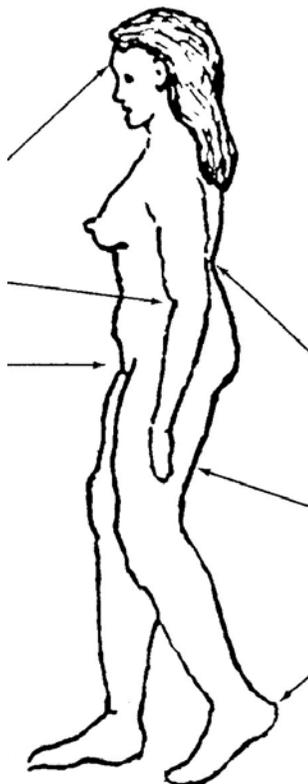
排尿に関する一般的な病気としては次のものがある。

1. 尿路感染症。これらは女性にきわめて普通である。(セックスのあとに始まることもあるが、他の時期、ことに妊娠中に起こるかもしれない。)
2. 腎臓結石または膀胱結石。
3. 前立腺の病気 (肥大した前立腺によって起こる排尿困難。高齢者に最も多い)。
4. 淋病またはクラミジア (セックスによる感染症で、多くの場合、排尿困難または痛みを伴う)。
5. 一部の地域では、住血吸虫症が血尿の最も一般的な原因である。この問題は他の寄生虫感染とともに論じてある。p.146 を参照。

## 尿路の感染

症例：

- ときに発熱と寒気、あるいは頭痛。
- ときにわき腹の痛み。
- 排尿時の痛みおよび頻尿。
- 排尿を抑制できない (ことに子どもで)。
- 尿がにごる、あるいは赤い (血尿)。



- ときに膀胱が完全に空になった気がしない。
- 腰 (腎臓) が痛いことがある。
- 痛みが脚のほうにのりてくるような感じがする。
- 重症の場合 (腎臓病) は、足と顔がむくむ。

多くの女性が尿路の感染に悩まされている。男性ではそれほど一般的ではない。**排尿時の痛みと頻尿**だけが症状であることもある。その他の一般的な症状は、**血尿と下腹部の痛み**である。肋骨の下のわき腹に広がることの多い背や腰の痛みで発熱を伴うものは、もっと重い病気を示している。

手当て：

- ◆ **水をたくさん飲む。**軽い尿路の感染は、薬を使わずに、水をたくさん飲むだけで治る可能性がある。3 - 4 時間の間、30 分ごとに、少なくともグラス 1 杯飲む。そして、水をたくさん飲む習慣をつける。(ただし、患者が排尿できない場合、または手と顔にむくみがある場合は、水をたくさん飲んではいけない。)
- ◆ 水をたくさん飲んでもよくなる場合、あるいは患者に熱がある場合は、コトリモキサゾール Co-trimoxazole (p.358)、アンピシリン Ampicillin (p.353)、またはテトラサイクリン Tetracycline (p.356) の錠剤を用いるべきである。投与量と予防措置には十分な注意を払う。感染を完全に抑えるには、薬を 10 日以上飲む必要があるだろう。これらの薬、ことにスルホンアミド Sulfonamide を飲んでいながら、水をたくさん飲むことが大切である。
- ◆ 速やかに改善しない患者の場合は、医療従事者の助言を求める。
- ◆ いくつかの新薬は痛みを取り除くことはできるが、**尿路感染症を治すことはできない**。このような薬を 2 日以上にわたって使わないこと。



## ■腎臓または膀胱の結石

症状：

- 最初の症状は多くの場合、腰、わき腹、または下腹部、男性では陰茎の根元の鋭い、つまりひどい痛みである。
- 尿管が詰まることがあり、患者は排尿が困難になる。まったく出ない場合もある。あるいは排尿し始めると血液が滴下する。
- 尿路の感染が同時に起こっているかもしれない。

手当て：

- ◆ 上記の尿路の感染の場合と同様。
- ◆ さらに、アスピリン Aspirin または他の鎮痛薬および鎮痙薬 (p.381 を参照) を与える。
- ◆ 尿が出ない場合は、横になって排尿してみる。こうすると膀胱の中の石が戻って、尿道への口が開くことがある。
- ◆ 重症の場合は、医療従事者の助けを求める。外科手術が必要なときがある。

## ■前立腺肥大

この状態は、40 歳以上の男性できわめて普通である。これは膀胱と尿道の間にある前立腺が腫れておこる。

- 排尿、ときには排便が困難である。尿はしたたる、つまり滴下するだけか、あるいは完全に止まってしまう。数日間排尿できない場合もある。
- 患者に熱がある場合には、感染も起こしている症状である。

### 前立腺肥大の手当て：

- ◆ 患者が排尿できない場合は、この図のように、湯を入れたたらいに座る。この方法で効果がなければ、カテーテルが必要だろう (p.239)。
- ◆ 患者に熱がある場合は、アンピシリン Ampicillin (p.353) またはテトラサイクリン Tetracycline (p.356) のような抗生物質を用いる。
- ◆ 医療従事者の助けを求める。重症または慢性の場合は、手術が要るだろう。



**留意点：**前立腺の病気および淋病（またはクラミジア）もともに尿の通過を困難にする可能性がある。高齢者は前立腺肥大になりやすい。しかし、若い男性、ことに最近何かの感染のある人とセックスした人の場合は、おそらく淋病またはクラミジアだろう。

## ■セックスによって広がる病気（性感染症：Sexually Transmitted Infections）（STIs）

以下のページで、セックスによって広がる一般的な病気（STIs）のいくつかを論じる。**淋病、クラミジア、梅毒、および鼠径リンパ肉芽腫**である。HIV/AIDS および生殖器にただれを起こすいくつかの性感染症（**性器ヘルペス、性器いぼ、および軟性下疳**）については、ブルーページで論じている。p.399—p.403 を参照。

## ■淋病（クラップ、VD、ドリップ）とクラミジア

**男性も女性も何の症状もないまま淋病やクラミジアに感染していることがある。**淋病とクラミジアの症状は似ているが、淋病のほうが症状は早く現れ、痛みも強い。男性でも女性でも淋病とクラミジアに同時に感染していることがあるので、両方に対して治療を行うのが最善である。淋病もクラミジアも治療せずに放置すれば、男女を問わず不妊（子どもができないこと）になる可能性がある。

妊婦が出産前に淋病やクラミジアの治療を受けていない場合、生まれてくる子どもの眼に感染が起こり失明させることがある。(p.221 を参照。)

### 男性での症状

- 陰茎から膿がしたたる
- 時に、睾丸が腫れて痛い

### 女性での症状

- 膣、肛門から黄色または緑色の下り物がある
- 下腹部の痛み（骨盤炎症性疾患、p.243）
- 発熱。
- 性行為中の痛み。



### 男性・女性ともに見られる症状

- 排尿中（おしっこの時）の痛みと焼けつくような感じ
- 全身の発疹とただれ
- 片方または両方のひざ、ひじ、手首が痛んでむくむ



男性の場合、最初の症状は、感染者とのセックス後 2 - 5 日（あるいは 3 週間以上後）に出始める。女性の場合は、数週間から数ヶ月まで、症状は現れないだろう。しかし、感染した人は数日後から、たとえ症状は何も見せていない場合でも、誰かにその病気をうつす可能性がある。

手当て：

- ◆ かつては、淋病の治療は、通常、ペニシリン Penicillin で行った。しかし、現在は、多くの地域でこの病気はペニシリン Penicillin **耐性**になっている。従って、他の抗生物質を用いなければならない。自分の地域でどの薬が有効か、手に入るか、買えるかについて、地元の助言を求めのが一番よい。淋病とクラミジアの治療によく用いられる薬は、p.360 に載せてある。手当てを試みてから 2 - 3 日以内に膿のしたたりと痛みがとれない場合には、淋病がその薬にたいして**耐性**になっているか、または患者はクラミジアにかかっている可能性がある。
- ◆ 淋病またはクラミジアの女性に、発熱と下腹部の痛みもある場合は、骨盤に炎症が起きているかもしれない (p.243 を参照)。
- ◆ 淋病またはクラミジアにかかっていることがわかっている人とのセックスをした人、ことに夫が感染している妻はみな、手当てを受けなければならない。妻に症状が何も見られない場合でも、おそらく感染している。妻も同時に治療しなければ、また夫へ病気をうつし返してしまうだろう。
- ◆ すべての新生児の眼を、クラミジアおよびことに淋病から守らなければならない。これらの病気は新生児を失明させる可能性がある (p.221 を参照)。手当てについては、p.379 を参照。

**注意：**淋病またはクラミジアの人は、気づかずに梅毒に感染しているかもしれない。さらに踏み込んで、梅毒に対する完全な治療をするのが最善である。淋病とクラミジアの治療は、梅毒の初期症状を防ぎはするが、**この病気を治すわけではない**からである。

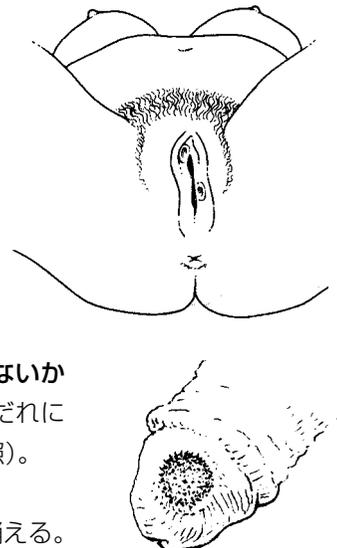
これらの病気および他の性感染症の予防については、p.239 を参照。

## ■梅毒

梅毒はセックスを通じて人から人へ広がる、一般的で危険な病気である。

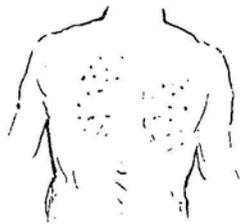
症状：

- 最初の症状は通常硬性下疳と呼ばれるただれである。梅毒患者とのセックスの後、2 - 5 週間で現れる。硬性下疳は、腫れ物、水疱、あるいは開放性のただれのように見える。通常、男性または女性の生殖器部位に現れる（あまり一般的ではないが、唇、手の指、肛門、口にも現れる）。このただれは病原菌で満ちており、容易に別の人にうつる。**通常、ただれに痛みはなく、腫の内部にできている場合、女性は気づかないかもしれないが、容易に他の人を感染させることができる。ただれに痛みがある場合には、軟性下疳の可能性**がある (p.403 を参照)。
- このただれは数日間しか続かず、手当てをしなくても自然に消える。しかし、病気は体中に広がり続けている。



- 数週間後、または数ヵ月後、咽頭炎、微熱、口のただれ、関節の腫れが生じる。あるいはこれらの症状すべてが、皮膚に現れるかもしれない。

体全体に痛い発疹  
または(面ぼう)ができる。



輪形のみみずばれ  
(蕁麻疹のような)。



手または足にか  
ゆい発疹。



通常、これらの症状はすべて自然に消えるので、患者は、自分は治ったものと思うことが多い。しかし、病気は続いている。**適切な治療をしなければ、梅毒は体のあらゆる部位を侵略し、心臓病、麻痺、精神障害、その他たくさんの病気を起こす。**

**留意点：**イチゴ腫は梅毒と共通の症状を多くもつ (p.202 を参照)。

**注意：**生殖器に腫れ物、またはただれが現れて数日または数週間後に、何らかの奇妙な発疹または皮膚の変化が見られるようなら、梅毒かもしれない。医学的助言を得る。

**梅毒の治療 (完全治癒のためには下記の治療すべてが必須である)：**

- ◆ **症状が現れてから 1 年以内の場合**は、240 万ユニットのベンザチンペニシリン Benzathine penicillin を一度に全部注射する。尻の両側に、それぞれ半量ずつ (p.353 を参照)。ペニシリン Penicillin に対してアレルギーのある患者は、500mg のテトラサイクリン Tetracycline を、1 日 4 回、15 日間用いる。
- ◆ **症状が 1 年以上ある場合**は、240 万ユニットのベンザチンペニシリン Benzathine penicillin (片尻に半量ずつ) を、毎週 1 回、3 週間、合計 720 万ユニット、注射する。ペニシリン Penicillin に対してアレルギーの場合は、500mg のテトラサイクリン Tetracycline を、1 日 4 回、30 日間用いる。
- ◆ 誰か梅毒にかかっている人がいる場合は、ただちにその人を保健ワーカーに見せなければならない。特別な血液検査が必要になるだろう。検査が行えない場合は、どんな場合であっても、梅毒の治療をしなければならない。
- ◆ 梅毒患者であることわかっている人と性交渉のあった人、ことに夫または妻が感染者の場合は、同じように手当てを受けなければならない。

**留意点：**妊婦または授乳中の女性でペニシリン Penicillin に対してアレルギーの人は、テトラサイクリン Tetracycline と同じ投与量のエリスロマイシン Erythromycin を用いることができる (p.356 を参照)。梅毒の予防については、次ページを参照。

## ■よこね：<sup>そけいぶ</sup>鼠径部のリンパ節の破裂 (鼠径リンパ肉芽腫)

**症状：**

- ◆ **男性の場合：**鼠径部に大きな黒っぽい塊ができ、破れて膿が出る。かさぶたができ、また破れる。
- ◆ **女性の場合：**リンパ節の様子は男性の場合に似る。あるいは肛門に痛みのある、じくじくしたただれができる。

**手当て：**

- ◆ 保健ワーカーに見せる。
- ◆ 大人にはテトラサイクリン Tetracycline の 250mg カプセルを 2 カプセルずつ 1 日 4 回、14 日間与える。
- ◆ ただれが完全に治るまで、セックスを避ける。

**留意点：**鼠径部のよこねは、軟性下疳の症状である可能性もある (p.403 を参照)。



## 性感染症の広がりを防ぐ方法

1. **セックスの相手に気をつける**：セックスの相手の多い人はこの病気にかかりやすい。売春する人々は、ことに感染しやすい。感染を防ぐには、ただ一人の信頼するパートナーだけを相手にすべきである。それ以外の誰とであれセックスをするときは、**常にコンドームを用いる**。
2. **ただちに手当てをする**：性感染症に感染した人はみな、他人を感染させないために、直ちに治療することが、きわめて大切である。治療が終わって3日過ぎるまでは、誰ともセックスしない。(残念ながら、HIV/AIDS に対しては、まだ有効な治療法がない。)
3. **他の人々にも治療を受けるように言う**：自分が性感染症に感染していることがわかった人は、すべての相手にそのことを告げ、彼らも治療を受けられるようにしなければならない。ことに男性側が女性に告げることが重要である。女性は自分が病気であることを知らないまま、他の人々にうつす可能性があり、自分の子どもが感染して失明したり、自分自身が不妊や重い病気になったりするからである。
4. **他の人々に働きかける**：性感染症にかかっている友人を励まして、すぐに手当てを受け、病気が治るまですべてのセックスを避けるように言う。

## ■カテーテル（膀胱から尿を排出するためのゴム管）はいつ、どのように用いるのか



### カテーテルを用いるべきときと用いてはならないとき：

- どうしても必要なときあるいは適切な時期に医療従事者の助けを得るのが不可能なとき以外、決してカテーテルを用いてはならない。たとえ注意深くカテーテルを用いた場合でも、危険な感染を起こしたり、尿道に損傷を与えたりすることがある。
- 尿が少しは出ているときは、カテーテルは用いない。
- 患者が排尿できない場合、まず、湯を入れたたらいに座って排尿させてみる (p.236)。ただちに、指示した薬（淋病または前立腺の病気の薬）の投与を始める。
- 患者の膀胱がいっぱいになりすぎて痛く、しかも排尿できない場合、あるいは患者が尿毒症の症状を見せ始めている場合は、その場合に限ってカテーテルを用いる。

### 尿の中毒（尿毒症）の症状：

- 呼気に尿のようなにおいがする。
- 足と顔が腫れる。
- おう吐、精神的または身体的苦痛、錯乱。



**留意点**：排尿困難、前立腺肥大、腎臓結石などで苦しんでいる人は、緊急事態に備えて、カテーテルを購入し手近に用意しておくべきである。

## カテーテルの挿入方法

1. カテーテル (および注射器や使おうとするすべての器具) を15分間煮沸する。



2. 包皮の下または膣陰唇の間、および周辺部分をよく洗う。



3. 手を洗う。可能なら外科用せっけん(ベタジンBetadineなど)を用いる。洗ったあとは、滅菌済みか非常に清潔なものにしか触れない。



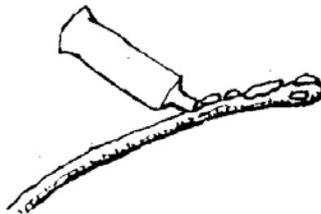
4. 挿入部位の下と周りに、非常に清潔な布をしく。



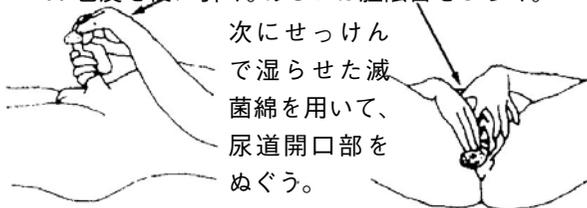
5. 滅菌した手袋をはめる。あるいはアルコールか外科用せっけんで手をよくこする。



6. カテーテルの表面にK-Yゼリーのよ  
うな水溶性の(油やワセリンではなく)  
潤滑剤をぬる。

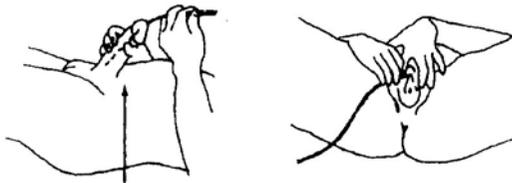


7. 包皮を後に引く。あるいは膣陰唇をひらく。



次にせっけんで湿らせた滅菌綿を用いて、尿道開口部をぬぐう。

8. 包皮を後方に保持し、あるいは陰唇をひらいて、カテーテルを尿道の穴に静かに挿入する。必要に応じてねじるが、無理に押し入れてはいけない。



9. 男性の場合、カテーテルは尿が出始めるまで押し込み、さらに3cm奥まで入れる。



留意点：女性は男性に比べて、尿管はずっと短い。

**重要事項：**患者に尿毒症の症状が見える場合、あるいは膀胱がいっぱいになりすぎて伸びてしまっている場合は、尿を一気には排出させないで、非常にゆっくり(カテーテルをつまんだり、栓をしたりして)、1～2時間以上かけて出す。

女性は出産後に排尿できないことがある。6時間以上たつて、膀胱がいっぱいのようにであれば、カテーテルの挿入が必要だろう。膀胱がいっぱいでない場合は、カテーテルは用いず、水をたくさん飲ませる。

カテーテルの使用についてより詳しくは、**障害のある村の子どもたち**、第25章を参照。

## ■女性の病気

### ■膣のおりもの（膣から出てくる粘液または膿のようなもの）

女性には誰にも正常なものとして、わずかなおりものがある。透明か、乳白色か、あるいはわずかに黄色である。かゆみや悪臭がない場合は、おそらく問題はない。

しかし多くの女性はしばしば、とくに妊娠中に、膣内のかゆみを伴ったおりものになやまされる。このおりものは、さまざまな感染によって起こっているかもしれない。そのほとんどは厄介だが、危険ではない。ただし、淋病またはクラミジアによる感染の場合は、子どもが産まれるときに害を与える（p.221 を参照）。

1. 薄くて泡立ち、緑黄色または白色の悪臭のする下り物で、かゆみを伴う場合。これはおそらくトリコモナスの感染である。排尿時にひりひりするだろう。生殖器が痛んだり、腫れたりすることもある。おりものに血液が混じるかもしれない。

手当て：

- ◆ 生殖器を清潔に保つことが、きわめて重要である。
- ◆ 温水と蒸留した食酢を用いて、膣洗浄すなわちドゥーシュ *douche* を行うのが有効である。食酢がない場合は、レモンジュースを水に加えて用いる。

ドゥーシュには、小さじ 6 杯の食酢を加えた 1 リットルの湯冷ましを用いる。



**重要事項：**3 分間のあいだ水をゆっくり入れる。管を膣内 3 インチ（約 7.5 センチ）より奥に挿入しない。

**注意：**膣洗浄は妊娠最後期 4 週間、または出産後 6 週間を行わない。下り物が厄介な場合は、ニスタチン Nystatin の膣への挿入が有効だろう（次ページの # 2 を参照）。

- ◆ 膣挿入として、ニンニク 1 片を用いてもよい。（つぶさないように気をつけて、ニンニクの皮をむく。清潔な布またはガーゼにくるんで、膣内に挿入する。）
- ◆ 日中は膣洗浄を 2 回行い、毎夜、新しいニンニク片を挿入する。これを 10 - 14 日間行う。
- ◆ この方法で効果が見られない場合は、メトロニダゾール Metronidazole またはトリコモナス用に指示されている他の医薬品の膣挿入を行うか、メトロニダゾール Metronidazole を飲む。予防措置と使用説明については、p. 370 を参照。

**重要事項：**トリコモナスにかかった女性の夫は、自覚症状がなくても、感染しているはずである。（トリコモナスに感染している男性は、排尿時に焼けるような痛みを感じることもある。）女性がメトロニダゾール Metronidazole で治療している場合は、夫も同時に同じ薬を飲むべきである。

2. **カッテージチーズまたはバターミルクのような白色のおりもので、かび、うどん粉、焼けているパンのようなにおいがする場合。**これは酵母菌の感染のほずである（モニリア症、カンジダ属の菌感染）。非常にかゆいだらう。膣陰唇は明るい赤色で痛いことが多い。排尿時に灼熱感があるかもしれない。この病気は妊娠中または病気の女性、糖尿病（p.127）、抗生物質服用中、あるいは経口避妊薬を飲んでいる女性にしばしばみられる。

**手当て：**酢水またはゲンチアナ紫の希釈液による膣洗浄を行う（p.241を参照）。ゲンチアナ紫2に対して水100（小さじ2杯対0.5リットル）。あるいは膣用のニスタチン Nystatin 錠、またはモニリア症すなわちカンジダに対する膣挿入薬を用いる。ミクロナゾール Micronazole またはクロトリマゾール Clotrimazole がある。投与量と使用説明については p.370 を参照。酵母菌感染を抑えるための家庭療法としては、甘くないヨーグルトを膣につけるのが有効だといわれている。

**酵母菌感染に抗生物質は決して用いてはならない。いっそう悪化させる可能性がある。**

3. **濃い、乳状のおりもので、バターの腐ったような悪臭がする場合。**これはバクテリアの感染が原因に違いない。これがトリコモナス感染であると判断するためには、特別な検査が必要になるだらう。酢水（p.241）またはポビドンヨード Povidone-iodine（ベタジン Betadine：1リットルの水に小さじ6杯）で膣洗浄を行う。あるいは2週間の間、毎夜、ニンニク片の膣挿入を試みてもよい（p.241を参照）。これらの手当てがどれも無効の場合は、メトロニダゾール Metronidazole を試みる（p.369を参照）。
4. **水っぽい、褐色または灰色のおりもので血液が混じって縞になる。悪臭がして、下腹部が痛い場合。**これらはかなり重い感染の症状であり、がんの可能性がある（p.280）。熱がある場合は、抗生物質を用いる（できればアンピシリン Ampicillin をテトラサイクリン Tetracycline と併用する。p.353とp.356を参照）。**ただちに医学的助けを求める。**

**重要事項：**どのおりものであっても長期間続く場合、あるいは手当てをしても良くならない場合は、保健ワーカーに見せる。

## ■女性が多くの感染から免れるための方法

1. 生殖器の部位を清潔に保つ。入浴時（できれば毎日）に低刺激のせっけんでよくあらう。
2. セックスのあと排尿する。これは泌尿器系感染を予防するのに有効である（しかし妊娠は妨げない）。
3. 排便のたびに、後を清潔にするよう気をつける。必ず前から後ろに向かってふき取る。



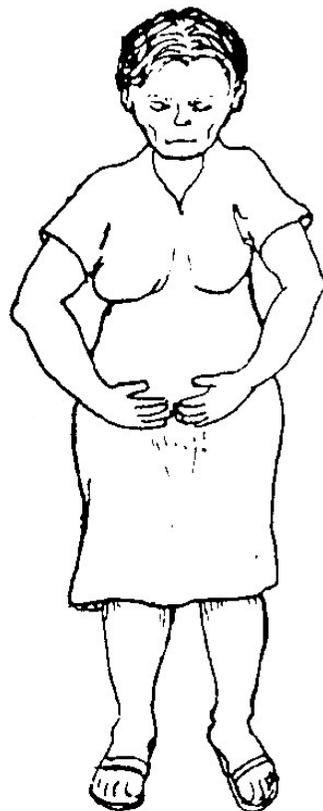
前に向かってふけば、病原菌、アメーバ、寄生虫などが尿道開口部と膣の中に広がる可能性がある。また、小さな女の子の尻も前から後ろに向かってふいてやるように気をつけ、成長したときに自分でそのようにできるよう、この方法を教える。

## ■女性の下腹部中央の痛みまたは不快感

これはそれぞれ違う原因からきている可能性がある。それらについては、この本の別の章でも論じている。以下の項目は、どの章を参照しよいかを判断するのに役立つ、手がかりとなる質問を挙げている。

下腹部の痛みの原因として考えられるもの：

1. **月経による疼痛** (p.246)。月経の直前または期間中に最も痛むか？
2. **膀胱の感染** (p.234)。下腹部中央の痛みとして最もよくみられるものの一つ。排尿が特に頻繁であるか、あるいは痛みを伴っているか？
3. **骨盤炎症性疾患**。これはほとんどの場合、淋病またはクラミジアの後期の段階で (p.236)、下腹部の痛みと発熱を伴う。これらの症状が弱い場合には、まず、淋病の手当てをする (p.360)。しかし薬は1回きりでなく、熱が下がって2日経つまでは与える。次に、テトラサイクリン Tetracycline (p.356) またはエリスロマイシン Erythromycin (p.355) を14日間与える。より重い症状の場合は、さらに400 – 500mg のメトロニダゾール Metronidazole を、1日3回、10日間与える。患者の女性が子宮内避妊器具 (IUD) を使用している場合は、取り外す必要があるだろう。保健ワーカーに見せる。
4. **下腹部内にできたかたまりに関係する病気**。これらについては、p.280 で簡単に論じる。卵巣のう腫または**がん**が含まれる。訓練を受けた保健ワーカーによる特別の検査が必要である。
5. **子宮外妊娠** (胎児が子宮の外で成長し始めるとき、p.280)。通常、不正出血を伴うひどい痛みがある。妊娠初期の症状を示すことが多く (p.247 を参照)、患者はめまいや衰弱を感じる。**ただちに医療従事者の助けを得る。妊婦の生命は危険な状態にある。**
6. **中絶がもたらす問題** (p.414)。発熱、凝血塊を伴う膣からの出血、腹痛、排尿困難、ショックがあるかもしれない。**産褥熱**<sup>さんじよく</sup>の場合のように抗生物質を与えはじめ (p.276)、**患者の女性をただちに病院に運ばなければならない。生命の危機に直面している。**
7. **腸または直腸の感染または他の病気** (p.145)。痛みは食事または排便に関係しているか？



上記の問題のいくつかは、重大ではない。その一方で、危険なものもある。必ずしも区別できるとは限らない。特別の試験または検査が必要だろう。**痛みの原因が何か確信が持てない場合、あるいはすぐによくならない場合は、医療従事者の助けを求める。**女性の健康問題の対処法に関する更に詳しい情報は**医者<sup>い</sup>のいないところに住む女性のための本**を参照。

## ■子どもができない男性および女性（不妊）

子どもを持つと試みても、女性が妊娠しない夫婦がある。男性または女性が不妊（妊娠に至らないこと）であるかもしれない。妊娠させる手段が何も無い場合がしばしばあるが、方法がある場合もあり、事例ごとに違う。

### 不妊の一般的な原因：

1. 先天的な**不妊**。その人の体が、男性であれ女性であれ、子どもができないつくりになっている場合。生まれつき不妊である男性や女性もいる。
2. **虚弱または栄養不足**。ひどい貧血、栄養失調、ヨウ素不足の女性は、妊娠に至る機会が低い場合がある。あるいは胎児の形をとる前に、母親が妊娠を自覚すらしないうちに、胚が死に至るかもしれない（p.281の流産の項を参照）。妊娠できない女性、あるいは流産ばかりする女性は、栄養のある食物を充分にとり、ヨウ素化した食塩を用い、貧血がひどい場合は鉄剤を飲まなければならない（p.247）。これらのことは、患者の妊娠と健康な子どもに恵まれる機会を増加させる。
3. **慢性感染**、ことに淋病またはクラミジアによる骨盤炎症性疾患（p.243を参照）は、女性の不妊の一般的な原因である。病気が進行しすぎていないのであれば、治療するのがよい。淋病とクラミジアの予防と初期手当では、不妊の女性を減少させることになる。
4. 精子の数が正常より少ないために、女性を妊娠させることのできない**男性**もいる。男性はセックスをせずに、女性の毎月の＜妊娠可能日＞に入る数日前まで待つのがよい。女性の前回の月経と次の月経との中ごろである（p.291とp.292のリズム法および粘液法を参照）。この方法によって、女性が妊娠できるその日に、男性は自分の精子の全量を渡すことができる。

**警告：**子どものできない男女に一般的に与えられているホルモンおよび他の薬は、ことに男性に対してほとんど無効である。民間薬と魔術療法も役立たないだろう。つまらないことに浪費しないように気をつける。

子どもに恵まれない女性であっても、子どもを育てたり支援したりして幸福で有意義な人生を送る道はたくさんある。



- 孤児であるために家庭の必要な子どもたちを養子にしたり、世話をしたりする仕事に携わることができる。多くの夫婦がそのような子どもたちを、実子のように愛するようになっている。
- 保健ワーカーになったり、ほかのやり方で地域社会に貢献したりすることができる。自分の子どもたちにそそぐはずであった愛情を、他の子どもたちに向けることができ、何事もためになる。
- 子どもがない女性をさげすむような地域に暮らしている人もいるだろう。特別な悩みを抱えている人々を援助するためのグループを作ったり、地域に対してその他の貢献をすることもできる。子どもを生むことだけが女性の役割ではない、という考えを示すこともできるのだ。